

# 慈眼寺

## 整備だより

第四号

平成十四年七月

慈眼寺整備委員会

委員長 大野悟

### ごあいさつ

整備委員長 大野悟

梅雨もあけ暑い日が続いておりますが、壇家の皆様におかれましては益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。日ごろは慈眼寺および慈眼寺整備委員会にご理解とご支援をいただきまして誠に有難うございます。

さて、皆様方にご期待くださいと申し上げておりました本堂の新築工事も今月半ばに完成いたしました。幾世代かのご先祖様がお参りし続けてきた仏様達も化粧直しを済ませられお帰りいただきました。ご先祖様方も新しい位牌

堂へお移りいただきましてお盆は新しい本堂で迎えることができそうです。

本堂の中心になる須弥壇につきましては近隣の寺院を見学し、使い勝手などの研究を重ね、総檜造りの素晴らしい物ができたと自負しております。

その他荘嚴備品類も往年の職人技を残すべく立派に修復いたしました。

なお篠木町の伊藤時市氏から新しい本堂にふさわしい賽銭箱の寄付のお申し出がありました。この場をお借りいたしました。この場をお借りいたします。厚く御礼申し上げます。

今後は、九月より現庫裏

の解体に入り、来年春には客殿として完成を予定しております。客殿も、本堂同様皆様のご期待に添えるよう委員、顧問一同が知恵を出し合い、建設会社共々一丸となって進めていきたいと思っております。

ですので何卒よろしくお願い申し上げますと共に、本堂完成の報告と御礼に代えさせていただきます。最後になりますが、暑さ厳しき折、お体にはくれぐれもお気をつけお過ごし下さい。



## 本堂の完成を祝して

下市場町 伊藤孝夫

「まずもって、本堂の完成を心からお祝い申し上げます。」

今ここに、完成を迎えるにあたり、檀家の皆様の大なご支援、役員の方々の献身的なご尽力、施工業者の卓絶した技術力、裏方としての寺側のきめ細かいご配慮等々、総合的な要素が結集して、我々願望の本堂が眼前に威容を現しました。お盆にお帰りになるご先祖様方も、新しい本堂をご覧になり、さぞかしご満悦の事と推察いたします。

また、檀家の一人として、元壇方総代として、喜びと感謝の気持ちごが交差し感無量です。「ありがとう。ああ良かった。」のひと言が現在の心境であります。

さて、下市場は区画整理

事業により、村はじまって以来の大変貌を遂げ、現在のよう立派な景観を呈する街となり、とりわけ公共施設も完備し、それに準ずる公民館、神社、墓地等も整備され、ただ気になるのは山門だけが立派で淋しうな「本堂」の姿が、だれの目にもとまっていたと思います。

話は少し古くなりますが、小生の子供心に浮かぶお寺は、「屋根葺き」が大変で、檀家総出の奉仕作業であり、テレビに出てくる白川郷の合掌造りの作業に似ていました。

その後トタン屋根に変わりましたが、伽藍は益々老朽化が進みました。また随分以前から、お寺の新築、改築、晋山式等の話がたくさんありました。しかし、日本経済の不況、人々の価

値観の多様化等の波が押し寄せ、特に資金調達の話になると声が急に小さくなり、お互いに自信は持てず、前進する事もできず、残念ながら先送り状態が長期間続いておりました。

しかし、今回ここに、役員の皆様方が、檀家の方々の善意あるご支援を信頼して、思い切った「決断力」と「実行力」を発揮していただき、それと相俟って、檀家の皆様方からも、資金面、精神面で力強いバックアップを賜り、先祖様以来の願いが達成されました。

これで三百年は安泰と聴き、檀家の一人として心から感謝と敬意を表します。最後に、慈眼寺の益々のご発展と、檀家の皆様方のご多幸を祈念申し上げます。いの言葉にいたします。

付記

明治初年の頃、慈眼寺再建のため、身を捧げてご尽力をいただいた「故伊藤宇平殿」に、平成時代の子孫たちがこのような立派な本堂を完成したことを、ご報告申し上げます。(下市場誌資料四三二頁から四三二頁参照)



アパート  
マンション  
店舗、事務所  
売買

FC 勝川店  
大島 安次郎  
代表取締役  
宅地建物取引主任者

株式会社光コーポレーション  
春日井市八光町1丁目17番地  
〒486-0916  
TEL 0568-36-2333 FAX 0568-36-2332  
愛知県知事(1)第18279号  
携帯:090-1827-0731

## お寺と我が青春時代

### 篠木町 伊藤春明

お寺（慈眼寺）と現和尚は、私にとつて青春時代の思い出が懐かしく、故郷に帰ってきたような気持ちになります。

その思い出がいっぱい詰まった、百年有余の歴史を持つお寺が、檀家の皆様の祖先に対する篤い信仰心と、お寺をいつまでも大切にしようという尊い敬愛の心で新しく生れ変わりました。

この新しいお寺に整備するために大野悟委員長はじめ整備委員会の委員の皆様には大変なご尽力をいただき、心より深く感謝するものであります。

お寺と現和尚との付き合いは、今から四十年程前になり、正に若き青春時代真っ盛りの時でした。当時の青年団は、下市場の年間二

大イベントである盆の提灯

山（盆踊り）と秋のお祭りを一手にとり行い、約四十人の団員が一丸となって取り組み若きエネルギーを注ぎました。このなかで、お寺は提灯山の会場として、お盆の夜には多勢の町民や嫁ぎ先から里帰り中の方々や子供たちでとても賑わいました。現和尚の浩道さんは幼少の頃から、お寺が単なる祖先をお祀りするところばかりでなく、町民のふるあいの場であることを肌で感じ取られていたのではないかと思えます。

高校を卒業後は、当地区の若者の活動を共にしました。その当時新しい青年団活動が活発になり、機関紙の発行や区民バレーボール大会、クリスマスパーティーなどまた青年学級活動や他地区の青年団との交流も盛

んでした。当時のリーダー

であった伊藤健氏（平成十四年度区長）や多くの仲間と自転車で走りまわったことが懐かしく思い出されます。この若者の活動に新風を吹き込んだのが、現和尚を始めとする若い人たちでした。浩道さんは当時まだ十代後半だったと思いますが、正しいと思つたことはズバリと言うタイプでその言葉は核心をついていて説得力がありました。若干年長であった私共も納得したものです。また、色々と行動力にあふれリーダーシップも発揮された反面、言い出したら聞かないところがあつて皆をてこずらせもたものですが、段々と円熟されてきたように思います。

下市場は農村から住宅地へと大きく変わりましたが祖先やお寺に対する敬愛の

心はいつまでも続いていくものと思えます。そして私共檀家の心よりどころとして益々精進されることを願っております。

昔の写真二枚お目にかけます。



報告写真集

仮本堂での正月風景と大般若会です。



左 観音合祀壇  
右 折り上げ天井



左 位牌堂  
右 開山堂



左 天蓋の吊下げ  
右 大廊下



右 本尊観世音菩薩  
左 須弥壇の搬入



右 須弥壇の組立て  
左 須弥壇完成



右 道元禅師坐像  
左 達磨像

# 創業60年 石玉石材(株)

本店 / 潮見坂平和公園前

春日井市大泉寺町大池下443-125

☎(0568) 81-3081

FAX(0568) 81-9339

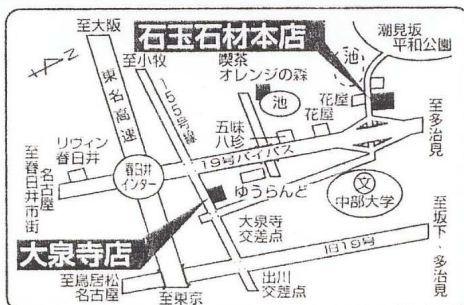
■営業時間 午前9時～午後6時

■年中無休 (日曜・祝日も営業)

■工場☎(0568) 82-3592

■夜間☎(0568) 81-2972

<http://www.ishitama.com>



**今後の工事予定**  
 九月十日 仮本堂解体開始  
 九月二十八日 客殿上棟  
 十五年三月には客殿が完成する予定です。

## 寄付勸進報告

会計 伊藤久幸

本堂を取り囲んでいた作業用の足場が取り外され、伽藍の大屋根、上棟部に「青柳山」の文字をくつきりと読み取る事ができるようになりました。

伸びやかな庇の曲線は優雅で美しい。建具、畳、照明器具等も取り付けられ、内部もほとんど完成しました。

振り込まれた浄財は各金融機関合計で一億八八八万円で、約九割七分の振込みを頂きました(六月五日)。檀家の皆様方のご協力に感謝しております。色々な都合があるかと思いますが、まだお振込みを頂いていない方は、平成十五年三月末日までに振込みをしていただきたくお願い申し上げます。

## 和尚敬白

暑さの中、皆様方にはご

健勝の事と存じ上げます。何だかんだと言いつつ時間は容赦なく過ぎていきます。

忘れもしない昨年の九月十一日、テロリストの飛行機がニューヨークのビルを直撃した日、本堂の取り壊しが始まり、その後世界には様々な事がありました。

お陰さまで建設工事は順調に進み、春先には昔の面影を存分に取り入れた新しい屋根も姿を現しました。その後内装工事が続いており、お盆に間に合うかと心配されましたが、文字どおり材料と技術の粋を凝らした本堂が出来上がり、七月末には本堂の精入式も執り行い、仏様方も仮本堂からお移り頂きました。ひとえに委員長はじめ委員の方々のご尽力と皆様方のご支援の賜物

と厚く御礼申し上げます。

なお、今まで慈眼寺の「寺紋」というものがありませんでしたので、このたびの整備事業を機に作っていただきました。仏の教えが悪法を駆逐して世界を駆け巡るといふ、仏教のシンボルである法輪を素材にしたもので、天水桶、須弥壇、法被などについております。ともあれ、時節柄ご自愛のうえお過ごしください。

## 編集後記

大型連休が始まる頃、本堂の大工仕事が一段落して工事用スクリーンが取り外され、新しい本堂が目の前に現れた瞬間の感動が忘れられません。日本古来の建物には様々な風情がありますが、とりわけ寺院建築の美しさはまた格別です。約束どおりお盆前に完成

して、どうかお盆の行事に間に合ったという安堵感に加えて、立派な本堂の完成を「整備だより」を通して皆さんにお知らせできること大変うれしく思います。檀家の皆様始め、お世話になりました関係者の皆様方に感謝の気持ちをこめて「整備だより第4号」をお届けいたします。(編集子)

## 「慈眼寺整備だより」 第4号

発行日 平成14年7月25日  
発行人 春日井市下市場町5-7-2  
慈眼寺整備委員会  
委員長 大野悟  
編集 庶務 伊藤忍  
連絡先 0568-81-6801